# 第 12 回

# 夢・未来熊谷ジュニア議会

# 会議録

平成 29 年 11 月 14 日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会

# 目　次


1　第12回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要 1

2　議事日程 3

3　出席議員(32名) 4

4　一般質問 5

質問番号1　市長公室関係 5

- 議席番号24　大幡中学校　新井　花菜　議員
- 議席番号14　中条中学校　春山　京花　議員

質問番号2　市長公室関係 8

- 議席番号3　富士見中学校　金子　依蕗　議員
- 議席番号17　別府中学校　濱川　秀紀　議員

質問番号3　総合政策部関係 11

- 議席番号19　三尻中学校　高橋　優文　議員
- 議席番号13　中条中学校　中島　康成　議員
- 議席番号30　妻沼西中学校　山口　紗和　議員

質問番号4　総合政策部関係 15

- 議席番号5　大原中学校　秋庭　宏多　議員
- 議席番号21　奈良中学校　藤野　綺人　議員
- 議席番号32　江南中学校　大津　美月　議員

質問番号5　総務部関係 19

- 議席番号11　大麻生中学校　小野　芳樹　議員

質問番号6　市民部関係 21

- 議席番号22　奈良中学校　小田嶋　凜　議員
- 議席番号15　吉岡中学校　府川　里玖　議員

質問番号7　福祉部関係 24

- 議席番号31　江南中学校　金室　洋紀　議員
- 議席番号6　大原中学校　新藤　楓香　議員
- 議席番号26　大里中学校　坪井　咲稀　議員

質問番号8　環境部関係 27
- 議席番号 8　熊谷東中学校　多田 陽菜　議員
- 議席番号 12　大麻生中学校　秋山 桜子　議員
- 議席番号 7　熊谷東中学校　森 基　議員

質問番号9　産業振興部関係 30
- 議席番号 4　富士見中学校　鈴木 彩心　議員
- 議席番号 16　吉岡中学校　浅見 楓香　議員

質問番号 10　産業振興部関係 33
- 議席番号 28　妻沼東中学校　中原 彩花　議員
- 議席番号 29　妻沼西中学校　堀越 叡人　議員

質問番号 11　都市整備部関係 36
- 議席番号 10　玉井中学校　植村 里菜　議員
- 議席番号 18　別府中学校　三上 喜帆　議員

質問番号 12　建設部関係 39
- 議席番号 1　荒川中学校　松本 京太郎　議員
- 議席番号 23　大幡中学校　秋庭 健佑　議員

質問番号 13　水道部関係 42
- 議席番号 2　荒川中学校　花岡 瑚流　議員

質問番号 14　教育委員会関係 44
- 議席番号 27　妻沼東中学校　上杉 俊介　議員
- 議席番号 25　大里中学校　門叶 翔汰　議員

質問番号 15　教育委員会関係 47
- 議席番号 20　三尻中学校　時田 栞　議員
- 議席番号 9　玉井中学校　國分 裕希　議員

5　ジュニア議員の感想　～ジュニア議会を終えて～ 50

6　参考資料(ジュニア議員座席表) 53

7　参考資料(答弁のための出席者) 54

# １　第12回夢･未来熊谷ジュニア議会の概要

夢･未来熊谷ジュニア議会は、平成 18 年 10 月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第12回を迎えました。第 6 回からは「夢･未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2 回のワークショップを行いました。ワークショップでは、市政に関する事前学習を行うとともに、ジュニア議員同士の交流を深めました。

**第１回ワークショップ（平成29年７月26日〔水〕）**

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

その後、「“もっと知りたい”熊谷」をテーマにグループ討論を行い、熊谷市のことで、もっと知りたいと思うことについてグループごとに意見をまとめ、発表しました。各グループとも活発な意見交換が行われました。

**第２回ワークショップ（平成29年８月23日〔水〕）**

実際に本番が行われる議会棟に移動し、過去の質問事項や答弁を利用して「ミニジュニア議会」を開催しました。

過去にどんな質問があって、どんな答弁だったのか本番と同じ環境で体験し、モチベーションを高めることができました。

## 第 12回夢･未来熊谷ジュニア議会（平成29年11月14日〔火〕）

熊谷市議会本会議場で開催しました。

須永　宣延　市議会議長が臨時議長を務め、議長に富士見中学校の鈴木　彩心　議員が、副議長に大麻生中学校の小野　芳樹　議員が指名されました。

市内 16 中学校の 2 年生 32 人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長を始め市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

# ２ 議事日程

（平成29年11月14日〔火〕13時30分開会）

１　市議会議長挨拶

２　開会　　臨時議長（熊谷市議会議長）

３　市長挨拶

４　議長の選挙（指名推選）

５　副議長の選挙（指名推選）

６　一般質問

（途中議長が副議長と交代）

７　閉会　　副議長

８　講評　　熊谷市議会議長
　　熊谷市長

## ３ 出席議員（32名）

| 議席番号 | 学校名 | 氏　　名 |
|---|---|---|
| 1 | 荒川中学校 | 松本　京太郎 |
| 2 | | 花岡　瑚流 |
| 3 | 富士見中学校 | 金子　依蕗 |
| 4 | | 鈴木　彩心 |
| 5 | 大原中学校 | 秋庭　宏多 |
| 6 | | 新藤　楓香 |
| 7 | 熊谷東中学校 | 森　基 |
| 8 | | 多田　陽菜 |
| 9 | 玉井中学校 | 國分　裕希 |
| 10 | | 植村　里菜 |
| 11 | 大麻生中学校 | 小野　芳樹 |
| 12 | | 秋山　桜子 |
| 13 | 中条中学校 | 中島　康成 |
| 14 | | 春山　京花 |
| 15 | 吉岡中学校 | 府川　里玖 |
| 16 | | 浅見　楓香 |
| 17 | 別府中学校 | 濱川　秀紀 |
| 18 | | 三上　喜帆 |
| 19 | 三尻中学校 | 高橋　優文 |
| 20 | | 時田　栞 |
| 21 | 奈良中学校 | 藤野　綺人 |
| 22 | | 小田嶋　凜 |
| 23 | 大幡中学校 | 秋庭　健佑 |
| 24 | | 新井　花菜 |
| 25 | 大里中学校 | 門叶　翔汰 |
| 26 | | 坪井　咲稀 |
| 27 | 妻沼東中学校 | 上杉　俊介 |
| 28 | | 中原　彩花 |
| 29 | 妻沼西中学校 | 堀越　叡人 |
| 30 | | 山口　紗和 |
| 31 | 江南中学校 | 金室　洋紀 |
| 32 | | 大津　美月 |

# 4 一般質問
# 質問番号1　市長公室関係

## 議席番号24　大幡中学校　新井（あらい）　花菜（はな）　議員
## 市長の仕事について

昨年、地域の方とジャガイモ掘り体験をしたときに、私たちの学校を市長さんが訪問されました。それをきっかけに、市長さんのお仕事にはどのようなものがあるのか知りたいと思いました。なぜなら、市長さんの仕事内容を知ることで、熊谷市のことをより詳しく知ることができるからです。

また、市長さんの仕事内容を紹介していくことで、市民の信頼もより深まると思います。

地域のイベントや行事に訪問をするほかに、市長さんのお仕事にはどのようなものがあるのか教えてください。

## 議席番号14　中条中学校　春山（はるやま）　京花（きょうか）　議員
## 熊谷市の魅力のPRについて

私たちの暮らしている「熊谷」は、大変住みやすい場所だと思います。人々が温かく、自然も多いし、東京にも比較的近い、という素晴らしい場所です。もっともっと「熊谷」の良さをPRしたほうがいいと思います。

そこで、熊谷市が市内外にPRしていることについてお聞きしたいと思います。熊谷市が市外の方々に誇れるPRポイントは、「あついぞ！熊谷」以外にありますか。また、それをどのようにPRしていますか。今後のPR方法についても教えてください。

### 答弁
### （市長）

新井　花菜議員さん、春山　京花議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、新井さんの「市長の仕事について」ですが、私の一番の仕事は、市民の皆さんが安心して健康に暮らせるように、熊谷市をより良くしていくことであると考えます。そのため、5年先、10年先を見据えたまちづくりの基本方針や目標などを定める計画を策定するほか、少子高齢化や人口減少問題など、その時々の課題等に対応するための様々な施策を職員とも話し合って決め、実行しています。

また、ハートフルミーティングなど、市民の皆さんの意見を聴くことも、熊谷市をより良くするための大切な仕事の一つです。

市長という仕事は、自治体のリーダーとして、市政に関わる全てのことを、最終的には自分で判断しなければなりません。とても大きな責任を感じますが、同時にやりがいも感じています。

ぜひとも、皆さんの中から将来の熊谷市長が誕生することを願っています。

次に春山さんの「熊谷市の魅力のPRについて」ですが、私自身が様々な場所に出向いてPRする「トップセールス」に、積極的に取り組んでいます。

例えば、今年の5月には、東京の日本橋で、「くまがや農業協同組合」にご協力いただき、「熊谷産の新鮮で美味しい野菜」の販売や、「熊谷の観光やグルメ」などについてPRしてきました。

また、先週の土曜日には、東京スカイツリーにある J:COM スタジオにおいて、「ご当地サタデー」という全国放送の番組に出演し、今週末に熊谷スポーツ文化公園で開催される「全国ご当地うどんサミット」など、熊谷の魅力をPRしてきたところです。

今後も、様々な機会を捉え、トップセールスを行うことを考えていますが、中でも2019年に開催されるラグビーワールドカップは、「ラグビータウン熊谷」を始め、「熊谷市の魅力」を広く世界に発信できる、千載一遇のチャンスでもあります。私が先頭に立ち、市民の皆さんと一体となって、熊谷の素晴らしさをアピールし、熊谷に住んで良かったと誇りに思えるまちに、また、市外の方が熊谷に訪れてみたい、住んでみたいと思える魅力あふれるまちにしていきたいと考えています。

## 議席番号24　大幡中学校　新井（あらい）　花菜（はな）　議員

## 市長の仕事について

新井 花菜議員さんの「市長の仕事について」にお答えします。

先ほど市長がお答えしたように、市長の主な仕事は、熊谷市をより良くするために、効果的な施策を検討して実施することです。

その施策を実施するためには、お金やルールが必要となるので、予算案や市の法律に当たる条例案等を作成し、市民の代表である市議会に提出します。

提出した議案は、議会の承認を経て決定されるため、年間4回行われる市議会定例会では、市長は、行政の代表として議場に立ち、議員からの質問に答えます。

また、熊谷市の代表として、市内外で開催される様々な会議や行事等に出席したり、国・県への陳情を行うほか、ごみ処理や介護事業などを共同して実施している、熊谷市、深谷市、寄居町の2市1町で設置する大里広域市町村圏組合の管理者なども務めています。

このほか、「トップセールス」として、市長自身が企業を直接訪問して熊谷市への誘致活動を行うこともあります。

市民の皆さんの声を実際に会って直接聴く「ハートフルミーティング」は、皆さんが通っている中学校や子育て団体とも行うようにするなど、すでに実施している事業にも年々工夫を凝らしています。

この様に、市長は、熊谷をより良くするため、日々の職務に当たっています。

## 議席番号14　中条中学校　春山（はるやま）　京花（きょうか）　議員
## 熊谷市の魅力のPRについて

春山　京花議員さんの「熊谷市の魅力のPRについて」にお答えします。

熊谷市は、快晴日数日本一を誇り、災害も少なく、南に荒川、北に利根川が流れる肥沃な大地と緑あふれる里山などの豊かな自然に恵まれた、とても住みやすいまちです。江戸時代に中山道の宿場町として栄えて以来、交通の要衝として発展してきた熊谷市は、農業、工業、商業がバランス良く立地しており、「国宝・歓喜院聖天堂」に代表される文化財を始め、関東一の祇園とも称される「うちわ祭」などの伝統行事や、「全国高校選抜ラグビー大会」を始めとする全国規模のスポーツイベントなど、他市に誇れる魅力がたくさんあります。

熊谷市では、こうした魅力を、市内外へ広く効果的に発信するために、市や観光協会のホームページを見やすく、若い人にも興味を持ってもらえるようリニューアルしたのを始め、大手観光情報誌「るるぶ埼玉」に熊谷の魅力をまとめた「熊谷BOOK」をとじ込み、PRしているほか、皆さんのお手元にお配りしてありますが、熊谷のグルメや見どころをまとめた「まっぷるKUMAGAYA」を、市の公共施設を始め、市内の宿泊施設などに備え、観光などに役立てていただいています。

また、皆さんにとって身近なところでは、国や県レベルのスポーツや文化・芸術の大会に出場する中学生に対し、「プレミアムTシャツ」をお配りし、少年熱中大使となって、他市の選手と交流を図り、熊谷の素晴らしさを伝えてもらうなど、様々な方法でPRを行っています。

今後は、フェイスブックやツイッターなどのSNSを有効に活用し、ラグビーワールドカップを始め、熊谷の魅力を、広く全国へと発信していきたいと考えています。

# 質問番号2　市長公室関係

## 議席番号3　富士見中学校　金子（かねこ）　依蕗（いぶき）　議員

### ラグビーワールドカップ2019でのテロ等の対策について

ラグビーワールドカップ2019が熊谷市で開催されることは、熊谷市活性化のために非常に良いことだと思います。そして、このラグビーワールドカップ2019ではたくさんの観客でにぎわうことと思います。

しかし、それに伴いテロ等の脅威が心配されます。もし、テロ等の事故が起こってしまうと観客の人々はパニックになりかねません。

そこで、ラグビーワールドカップ2019でのテロ等の対策はされますか。

また、それはどのようなものでしょうか。

## 議席番号17　別府中学校　濱川（はまかわ）　秀紀（ひでき）　議員

### 市民の防災意識の向上について

ここ数年、地震や豪雨などの自然災害によって、様々な地域で被害が出ています。

熊谷市は荒川と利根川に囲まれており、水害は身近な問題であると思います。各学校では避難訓練を行い、市では2年に1度、総合防災訓練を行ったり、防災ハザードマップを作ったりしています。しかし、熊谷市民全体としては、防災に対する意識は低いのではないでしょうか。

そこで、熊谷市民の防災に対する意識を高めるために、どんなことをしているのか教えてください。

## 答弁

### （市長）

金子 依蕗議員さん、濱川 秀紀議員さんから、ラグビーワールドカップ2019でのテロ対策や市民の防災意識向上について、質問をいただきましたが、私から全般的にお答えします。

今月2日、ラグビーワールドカップ2019の対戦カードが発表されました。パブリックビューイングを実施した市役所ロビーにも、大勢のファンが詰めかけ、大きな歓声に包まれました。

我が故郷（ふるさと）・熊谷が「祭りの舞台」になることへの喜びとともに、その成功に向け、改めて、身の引き締まる思いがしています。

さて、金子さんが心配される「テロ等の脅威」につきましては、私もまったく同感です。断じて、テロを許さない。この思いをオール埼玉で共有し、防止対策を検討する「テロ対策『彩の国』ネットワーク」が組織され、これまでに企業や自治体などが連携したテロ対策訓練を繰り返し実施し、安全な大会運営を目指しています。

次に自然災害についてですが、濱川さんのご指摘のとおり、今年7月に発生した九州北部豪雨を始め、局地的な大雨により、河川の氾濫や土砂災害など、自然災害が多発しています。

テレビに映る、疲れ果てた被災者の様子を見るにつけ、「備え」の大切さを痛感して

います。
本市としては、担当の「危機管理室」を設置する一方で、共に助ける「共助」の担い手として、自主防災組織の育成・支援に努め、現在、その数は260組織に上っています。
また、食糧備蓄も目標である13万食を確保しており、自治体や事業所との間に60を超える支援協定を結んでいます。
今回、お二人からの質問は、みんなの願いでもある「安心と安全」がテーマとなっています。
とても大切な課題であり、市民の皆さんと一緒に、しっかりとした危機管理の仕組みづくりを進め、熊谷市を豊かで、明るい未来を育む街にしていきたいと思います。

## 議席番号3　富士見中学校　金子（かねこ）　依蕗（いぶき）　議員
## ラグビーワールドカップ2019でのテロ等の対策について

金子　依蕗議員さんの「ラグビーワールドカップ2019でのテロ等の対策について」にお答えします。
ラグビーワールドカップ2019の開催まで、あと2年弱となりました。
心配されるテロ対策ですが、平成28年度に2度の訓練を実施しています。
1度目は、7月28日の「熊谷ラグビー場における官民合同警備訓練」です。参加機関は、埼玉県警察本部、警備会社、バス会社などで、熊谷市が協力した防災行政無線活用訓練を始め、避難誘導訓練、爆破物処理訓練、サイバー攻撃対処訓練、被疑者制圧訓練を実施しました。
2度目は、11月23日の「埼玉県・熊谷市国民保護実動訓練」です。
自衛隊や地域住民の皆さんにも参加していただき、国際テロ組織による爆発物やマスタードガスを使ったテロを想定し、避難誘導訓練を始め、防災ヘリ誘導訓練、救護所設営訓練、救出・救助訓練などを実施しました。
ここ熊谷の地で、多くの皆さんに安心して、世界最高水準のラグビーをお楽しみいただけるよう、引き続き、関係機関と力を合わせ、テロ等の対策に万全を期していきたいと考えています。

## 議席番号17　別府中学校　濱川（はまかわ）　秀紀（ひでき）　議員
## 市民の防災意識の向上について

濱川　秀紀議員さんの「市民の防災意識の向上について」にお答えします。
今年7月、九州北部で記録的な豪雨が降り、各地で甚大な浸水被害が発生しました。昨年4月には、熊本地震が発生し、周辺の県を含めて大きな被害をもたらしました。
災害はいつやってくるか分かりません。そのため、日頃の対策や心構えが大切です。
熊谷市では、70年前のカスリーン台風によって荒川の久下地区の堤防が決壊した状況を改めて市民に知ってもらうため、荒川上流河川事務所や熊谷地方気象台と協力し、公開講座と決壊箇所の見学会を今年9月に開催しました。
先月には、地域の皆さんと職員で協力し、避難所を開設・運営する宿泊型の訓練を本市で初めて実施しました。寝泊りを体験した参加者から様々な意見を得ることができましたので、こうした訓練結果をホームページ等で公開し、防災意識の向上を図って

いきます。
　また、「みんなの防災スクール」と題して、11月25日に地震、12月3日に洪水対策を学ぶ講演会を開催しますので、濱川議員さんもお友達とご一緒にぜひ、参加してみてください。
　今後も、市報への防災記事の掲載や市政宅配講座の実施など、様々な機会を通して、心がけてほしい防災対策について、市民の皆さんに分かりやすくお伝えし、防災意識を高める工夫をしていきます。

## 質問番号3　総合政策部関係

### 議席番号19　三尻中学校　高橋（たかはし）　優文（まさふみ）　議員

### 人口減少について

熊谷市は、埼玉県北部の中心都市です。平成27年度には20万人を超えていましたが、平成29年8月にはおよそ19万9000人と20万人を下回っており、7月から8月の間においても506人の減少がありました。

そこで、この人口減少に歯止めをかけ、多くの人々が暮らしたい、移住したいと感じるような魅力ある町づくりの構想について教えてください。

### 議席番号13　中条中学校　中島（なかじま）　康成（こうせい）　議員

### バス交通の利便性の向上について

私たちの住んでいる中条地区は、熊谷駅から遠く離れているので、どこへ行くにもとても不便です。

かなり遠くまで自転車で通学したりしている先輩たちを知っているので、高校を選ぶ際にも、交通の便のいいところを選んだりします。

そこで、2019年には、ラグビーワールドカップが開催されるので、中条地区のバス停を増やすとか、バスを増便するなどの事業を熊谷市で行って、交通の便をよくすることはできないでしょうか。

### 議席番号30　妻沼西中学校　山口（やまぐち）　紗和（さわ）　議員

### 使われなくなった施設の有効活用について

日本では、少子高齢化が進み、使われていない施設等が増えてきています。建物は、使わないと老朽化が早くなります。くまぴあなど、使われなくなった施設を上手に使っているところもありますが、他の使われなくなった施設はどのように管理されているか気になります。

そこで、今後は使われなくなった施設をどのように活用していきますか。

## 答弁

### （市長）

高橋　優文議員さん、中島　康成議員さん、山口　紗和議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、高橋さんの「人口減少について」ですが、これまで増え続けてきた日本の人口は、平成27年の国勢調査で、調査開始後、初めて減少し、全国的な問題になっています。その原因は、生まれてくる子どもの人数が少なくなっていることが挙げられます。熊谷市でも同じ状況ですが、若い人たちが、夢や希望を持ち、豊かな自然の中で、安心して暮らし続けられるように、働く環境や住みやすい環境を整備して、人口減少に歯止めをかけていきたいと考えています。

次に、中島さんの「バス交通の利便性の向上について」ですが、自家用車の普及で、これまでに市内のいくつかの民間バス路線が廃止され、買い物や病院への交通手段

がない交通不便地域が市内に存在しています。そのような地域には、市が補助金を出してゆうゆうバスという循環バスを走らせていますが、今後の高齢化の進行に合わせ、運行ルートやバス停も見直さなければならないと考えています。

次に、山口さんの「使われなくなった施設の有効活用について」ですが、少子高齢化により本市でも人口減少が予想されます。そうすると、税金を納める方も減りますので市の収入も減ることになります。その一方で、建物や道路は老朽化しますので、維持管理や建替えの費用が足りなくなり、危険な建物や道路が増えるといった、困った状態になります。足りない費用を借りる方法もありますが、将来その借金を返すのは、皆さん方の世代ということになってしまいます。そこで、そのような状態にならないように、市の全ての施設について今後の在り方を考える取り組みを行っているところです。

## 議席番号19　三尻中学校　高橋（たかはし）　優文（まさふみ）　議員

### 人口減少について

高橋　優文議員さんの「人口減少について」にお答えします。

全国的に人口減少が進行していますが、熊谷市でも11月1日の人口は198，976人と、ここ10年で約5,000人減少しており、このままでは10年後は約183，000人、20年後は約161，000人になると予想しています。　人口減少が進み、働く人や子どもたちが少なくなると、熊谷市の産業や経済が衰えて、まちの活力が失われてしまいます。

そのため、20代や30代の若い世代を対象に、働く場所を確保・創出する「雇用促進」、暮らしやすい環境を整備する「転入・定住促進」、安心して子どもを産んで育てられる「出産・子育て支援」の3つを目標として、人口減少対策に取り組んでいます。

主な取り組みとして、「雇用促進」では、熊谷市に企業を誘致して働く場所を増やすほか、お店の開業を後押しするなどの起業支援や、結婚・出産で仕事を辞めた女性の就労支援にも力を入れています。これまでに、「ハイアールアジアR＆D株式会社」、「藤原産業株式会社」、「ヤオコー物流センター」などの企業を誘致したほか、まちなかの空き店舗を活用した美容院や飲食店がオープンしました。

次に、「定住・転入促進」では、子育て世帯が親世帯と3世代で同居や近居するための支援や、住宅取得等に対する固定資産税の免除、東京への新幹線通勤補助、奨学金の返済支援などを行っています。

そして、「出産・子育て支援」では、妊娠している人や子育て中の人のための相談窓口の設置、高校卒業までの医療費の無料化、企業内保育所の設置支援や学童クラブ増設など、子育て環境の充実を図っています。

このような熊谷市オリジナルの取り組みで、魅力あるまちづくりを推進し、熊谷市内外へ情報発信することで、人口減少対策に取り組んでいます。

## 議席番号13　中条中学校　中島（なかじま）　康成（こうせい）　議員
## バス交通の利便性の向上について

中島　康成議員さんの「バス交通の利便性の向上について」にお答えします。

まず、ラグビーワールドカップ2019については、国内はもとより海外からも、多くのお客様をお迎えする大イベントですので、200台以上のバスを活用した特別な輸送計画を考えています。

また、民間の路線バスについては、中条地区では、熊谷駅と葛和田を結ぶ路線が、熊谷スポーツ文化公園に停まるものも含めて、1時間に3本程度運行されているほか、熊谷駅と犬塚を結ぶ路線があり、今のところ増便などの予定は聞いておりませんが、スポーツ文化公園でイベントがある際には、臨時便も運行されていますので、ぜひ、活用してください。

近年、路線バスの運営は大変厳しい状況であり、熊谷市内では、ここ10年程の間に、2路線が廃止されました。バス会社はバス停やバスの本数を、どのくらいの乗客がいるかで決めていますので、皆さんも、できるだけバスを利用して、地域の足を守っていただきたいと思います。

また、市のゆうゆうバスについても、中条地区では、グライダー号、ムサシトミヨ号というバスが走っています。1回100円ですので、こちらも、ぜひ乗ってみてください。

これからも、遠くの学校に通わなくてはならない生徒や、運転免許を返納して買い物や通院に困る高齢者が増えることが予想されます。こうしたことから、バスなどの公共交通の重要性や必要性は、より大きくなっていきますので、熊谷市としても、バス会社と役割分担をしながら利便性の向上を目指していきたいと考えています。

## 議席番号30　妻沼西中学校　山口（やまぐち）　紗和（さわ）　議員
## 使われなくなった施設の有効活用について

山口　紗和議員さんの「使われなくなった施設の有効活用について」にお答えします。

施設の有効活用等の取り組みは「アセットマネジメント」というもので、「アセット」とは「資産」、「マネジメント」とは「経営・やりくり」を意味します。その取り組みの中で、必要な施設や市民サービスを見直して、施設の使い方を変えたり、複数の施設をまとめたり、場合によっては取り壊したりしていきます。

山口さんのご質問にもありました「くまぴあ」は、旧市立女子高校の施設を、スポーツ・文化拠点へと使い方を変えた、有効活用の良い例であり、テレビ番組で取り上げられたこともあります。

その他の施設活用の例としては休校中の小島小学校・中学校は、地元で公民館のように利用されています。

また、保育所児童が減ったため、大里第二と第三保育所の2か所を、旧大里保健センターに吉見保育所として1か所にまとめた例があります。

このうち、大里第三保育所については、建物本体は取り壊しましたが、市で使わな

い敷地部分は、これから、貸し出すか売り払う予定で、これにより、市の収入が増えることになります。

施設には使用できる年限があり、また、老朽化するだけでなく、使わなくても維持管理に多額の費用が必要となります。

限りある財源や施設を有効に使って、市民の役に立つよう、個々の施設の状況に応じた様々な可能性について、市民の意見を聴きながら検討していきたいと考えています。

## 質問番号4　総合政策部関係

### 議席番号５　大原中学校　秋庭（あきば）　宏多（こうた）　議員
### うちわ祭の会館について

熊谷市には、関東一の祇園といわれているうちわ祭があります。熊谷市と並びお祭りで有名な川越や秩父には、お祭りの記念会館があります。

そこで、熊谷市では今後、「うちわ祭会館」のようなものをつくる計画はありますか？

### 議席番号21　奈良中学校　藤野（ふじの）　綺人（あやと）　議員
### ラグビープレーヤー育成について

私はラグビー部に所属しています。先日埼玉県の選抜選手として長野県菅平の合宿に参加しました。その際に、ラグビープレーヤーとラグビーファンが全国から集まるのを目の当たりにしました。

2019年開催のラグビーワールドカップを機会に、熊谷を盛り上げていくことはもちろんですが、多くのラグビープレーヤーを育成することも、ラグビータウン熊谷を推進していく上で大切なことだと感じました。

そこで、熊谷市は、プレーヤーの育成や、指導者の育成のためにどのようなバックアップ体制があるのか教えてください。

### 議席番号32　江南中学校　大津（おおつ）　美月（みつき）　議員
### 熊谷はなぜ「ラグビーの町」なのか。また、どんな活動をしているのか。

私たちが住んでいる熊谷ではラグビーが有名です。私たちも毎年ラグビーポスターを描いています。しかし、なぜ熊谷がラグビーの町になったのか、詳しいことを知りません。

そこで、ラグビーと熊谷との関係や歴史について詳しく教えてください。

また、親子で参加できるラグビー・タグラグビー体験などがあると、より一層ラグビーに興味を持って詳しく知ることができると思います。ラグビーについて市民の関心を高めるためにどんな活動をしているのか教えてください。

### 答弁
### （市長）

秋庭　宏多議員さん、藤野　綺人議員さん、大津　美月議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、秋庭さんの「うちわ祭の会館について」ですが、熊谷市には、有名なお祭りやイベントがたくさんありますが、いつでも見られる観光スポットは少ないと言われています。

そこで、毎年75万人もの人々が集まるうちわ祭などの行事や地域の魅力を常時、紹介する施設ができれば、熊谷市に来たお客さんを、いつでも、ご案内できる観光スポットになります。

現在、中心市街地の活性化を目指す中で、その検討を行っておりますので、秋庭さ

んもどのようにすれば、にぎわいのある施設になるか考えてみてください。

次に、藤野さんと大津さんのお二人からラグビーの取り組みについて質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

熊谷市は、昭和42年の埼玉国体でラグビーの会場になったことや熊谷工業高校ラグビー部の活躍、さらには平成3年に熊谷スポーツ文化公園内に、全国有数のラグビー専用競技場である県営熊谷ラグビー場が整備されたことが、「ラグビータウン熊谷」を推進する大きなきっかけとなっています。

次に、選手や指導者の育成ですが、熊谷市のスポーツ教室として行っているラグビースクールや中学校の部活動を始め、全小学校でのタグラグビー教室の開催などにより選手を育成するとともに、ラグビー協会などが主催する研修会を通して、指導者の育成にも取り組んでいます。

また、毎年、春に開催される全国高校選抜大会は、開催実現はもとより、第1回大会からの継続開催に積極的に関わるとともに、トップリーグを含む多くの公式戦を支援しています。

こうした取り組みが評価されたこともあり、熊谷市はラグビーワールドカップ2019の開催都市となりました。

ラグビーワールドカップの開催は、ラグビータウン熊谷を世界に発信する絶好の機会であり、ラグビーを通したまちづくりをより一層推進するため、ジュニア議員さんを始め、市民皆さんのご協力をいただきたいと思っています。

## 議席番号５　大原中学校　秋庭（あきば）　宏多（こうた）　議員
## うちわ祭の会館について

秋庭　宏多議員さんの「うちわ祭の会館について」にお答えします。

熊谷うちわ祭は、川越まつり、秩父夜祭と並ぶ埼玉三大祭りに数えられ、全国各地で行われている祇園祭の中で関東一と称されています。

こうした祭りを、いつでも見られる施設は魅力的でありますが、お祭りの時と同じように、いつも多くのお客さんでにぎわうお祭の会館にするのにはどうすればいいのかという点も研究してみる必要があります。

現在、市役所通りと国道17号の交差点にあるコミュニティひろばに埼玉県と共同で県北地域と熊谷市の中心市街地を活性化するための施設を設置する考えがあり、その中にお祭会館のような機能を入れることができないか検討しています。

秋庭さん、郷土の誇りであるうちわ祭の活用も含めて、どのようにすれば、いつもお祭りのときのような、にぎわいのある熊谷市になっていくか、これからも考えてみてください。

## 議席番号21　奈良中学校　藤野（ふじの）　綺人（あやと）　議員
## ラグビープレーヤー育成について

藤野　綺人議員さんの「ラグビープレーヤー育成について」にお答えします。

熊谷市には、幼児から小学生では熊谷ラグビースクール、中学生は藤野さんの在学する奈良中学校を含む5校にラグビー部があり、高校、大学のラグビー部、社会人チーム、80歳を超える人たちもプレーするクラブチームのほか、女子ラグビーでは、立正大学を拠点に活動するアルカス熊谷があります。

アルカス熊谷は日本代表選手が多く在籍する日本女子ラグビーのトップチームで、地元の小中学生や高校生も将来の日本代表を目指し活動しています。

このように、男女を問わず幅広い世代でラグビーをプレーできる環境があり、熊谷市長杯7人制大会を始めとした各種大会や、市内中学校のラグビー部に対する練習用具等の支援などを行っています。

また、昨年度から、アルカス熊谷の選手にご協力をいただき、市内全小学校でタグラグビー教室を開催しています。全国的には、ラグビーボールに触れたことがない子どもたちも多い中、熊谷市では小学校の授業でラグビーボールに触れ、ラグビーを身近に感じてもらえるような取り組みを進めており、一人でも多くの子どもたちが、プレーヤーとして、あるいは観戦者として、ラグビーに親しみ、関わりをもっていただきたいと思っています。

一方、指導者の育成については、埼玉県ラグビー協会が主導的な立場にあり、段階に応じて「スタートコーチ」「育成コーチ」「強化コーチ」などのコースを設定しており、指導者の多くは、これらの研修で資格を取得し、指導に当たっています。

## 議席番号32　江南中学校　大津（おおつ）　美月（みつき）　議員
## 熊谷はなぜ「ラグビーの町」なのか。また、どんな活動をしているのか。

大津　美月議員さんの「熊谷はなぜ『ラグビーの町』なのか。また、どんな活動をしているのか。」にお答えします。

熊谷市は、古くからスポーツが盛んな地域でしたが、「ラグビーの町」となった理由は、大きく3つあります。

一つ目は、昭和42年に開催された第22回国民体育大会で、熊谷市はラグビー会場となり、荒川河川敷にラグビー場が整備されました。これ以降、埼玉県のラグビーは、熊谷を中心に発展してきました。また、国体開催をきっかけに、熊谷少年ラグビースクールが開校し、現在も活動しています。

二つ目は、高校ラグビーの名門、熊谷工業高校の活躍です。同校は、全国高校ラグビー大会に通算で23回出場し、優勝1回、準優勝1回、ベスト4進出3回など輝かしい成績を残しています。OB には、元日本代表で、現在は立正大学ラグビー部監督の堀越正己さんを始め、多くの方が大学や社会人のチームで活躍しています。

三つ目は、平成3年にラグビー専用競技場として県営熊谷ラグビー場が完成したことです。こうしたことから「ラグビータウン熊谷」を掲げ、ラグビーによるまちづくりを行っています。

次にラグビーへの関心を高める活動については、皆さんも描いてくれたラグビーポスターの作成や、タグラグビーの普及を通じて、小中学生の皆さんがラグビーに興味を持っていただくための取り組みを行っています。

また、熊谷市ホームページやSNSを利用した情報発信を初め、ラグビー協会と連

携したイベントや大会の開催等を通じ、様々な世代の皆さんにラグビーを身近に感じ、楽しんでいただけるよう努めていますので、ぜひ皆さんには試合会場でラグビーの迫力、感動を味わっていただきたいと思います。

## 質問番号5　総務部関係

### 議席番号11　大麻生中学校　小野（おの）　芳樹（よしき）　議員

### 災害時に備えた発電機・蓄電池の設置について

最近、地震や洪水などの自然災害のニュースをよく見かけます。加えて、過去には、災害の影響で電気や水道が止まってしまったという話を聞いたことがあります。電気が止まってしまうと、避難所などで必要最低限の電化製品さえ動かなくなってしまいます。

そこで、電気を確保するために災害時に拠点となる公共施設には発電機・蓄電池を設置する必要があると思います。熊谷市内では発電機や蓄電池は、どのような場所に、どれくらい設置されているのか教えてください。

### 答弁

### （市長）

小野　芳樹議員さんからの質問に、私から全般的にお答えします。

小野さんの質問のとおり、大災害が発生した際に電気や水道などのライフラインを確保することは大変重要であると考えています。

近年、局地的な大雨が全国的に多発し、河川の氾濫や土砂崩れなどによって大きな被害が発生している状況です。また、台風も毎年発生していますし、地震がいつ起こっても不思議ではありません。

以前、熊谷市でも、竜巻や大雪によって大きな被害を受けましたが、そのときの経験や反省を生かし、災害全般への対応の基本を定める地域防災計画を見直すなど、災害対策の強化に努めているところです。

この計画では、皆さんが通っている中学校や小学校を、災害が発生した際の避難所や地域の防災拠点として利用することとしており、発電機や仮設トイレなどの機材のほか、毛布や水、食料品等を備蓄しています。

今後も発電機を含めた防災用資機材等を各行政センターなどの防災拠点へ計画的に配備するとともに、災害時における他市町村や民間事業者等との物資供給の応援協定を締結するなど、災害が発生しても被害が最小限となるよう、対策に万全を期したいと考えています。

### 議席番号11　大麻生中学校　小野（おの）　芳樹（よしき）　議員

### 災害時に備えた発電機・蓄電池の設置について

小野　芳樹議員さんの「災害時に備えた発電機・蓄電池の設置について」にお答えします。

大規模な災害が発生した場合には、市長を本部長とした災害対策本部を市役所本庁舎に設置します。

災害時に電気を供給する方法として発電機と蓄電池があります。

災害対応の要となる本庁舎は、一昨年に耐震改修工事を行いました。

その際、非常用自家発電機を新たに設置し、停電時に本庁舎の3日分の電力を維持できるようになりました。

また、公共施設では、大里行政センターや熊谷消防署のほか、30か所の全ての小

学校と玉井、吉岡中学校に災害時用の発電機を配備しています。
　蓄電池については、妻沼小学校に設置しています。
　このほか、災害時に避難所となる小中学校の体育館の耐震化工事や建替えを実施している中で、これまで18校の小学校と小野さんが通う大麻生中学校を含めた6校の中学校の体育館に太陽光発電システムを設置しています。
　この太陽光発電システムは、平時には電気料金を節約し、災害時には電気の供給源として活用できるものと考えています。
　今後も迅速な災害対応が図れるよう、資機材や備蓄品の充実に努めていきたいと考えています。

## 質問番号6　市民部関係

### 議席番号22　奈良中学校　小田嶋（おだしま）　凜（りん）　議員

### 通学路の街灯について

私たちが毎日通学している通学路には、街灯があまりありません。夏場は日も長いため下校時刻でも明るいことが多いですが、冬場になると下校時にはとても暗くなってしまいます。自転車で下校しても民家があまりないため不安が大きいです。

また、冬場はその対策として下校時刻が早まっていますが、家が遠かったりすると、帰るまでに日が落ちてしまうこともあり危ないです。

そこで、熊谷市全体で各学校の主要な通学路や、人通りはあるけれども民家の少ない道などに街灯を設置することはできないでしょうか。

また、人通りが少ないために街灯がつけられていない場所であれば、人感センサーのある街灯を使い電力の削減をしつつ設置することはできないでしょうか。

### 議席番号15　吉岡中学校　府川（ふかわ）　里玖（りく）　議員

### 高齢者への熱中症対策について

私が通う吉岡中学校では、「福祉交流事業」として立正たちばなホームの高齢者との交流や、「ふくしの授業」として立正大学の先生方の出前授業や地域の高齢者施設との交流等に取り組んでいます。

また、暑さ対策で有名な熊谷市では、中学校でも、消防署の救急隊員を講師に招いて「暑さ対策」サポーター養成講座が開かれました。ここで学んだことを、部活動で生かしたり、家族や地域の人々に伝えて行きたいと思っています。

これらの経験から私は、熱中症患者が多い高齢者への暑さ対策に興味を持ちました。

そこで質問です。高齢者への熱中症対策にはどのようなものがあるか教えてください。

### 答弁

### （市長）

小田嶋　凜議員さん、府川　里玖議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、小田嶋さんの「通学路の街灯について」ですが、市では、犯罪の起こらない地域環境の整備を目的として、通学路を始め、暗くて危険な場所に防犯灯と呼ばれる街灯を、地域と協力し、設置しています。

防犯灯の設置に当たっては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、原則として地域の自治会に設置をお願いし、市は設置費用などを支援しています。

また、市内の防犯灯を、明るさや経済性に優れたLEDに交換する取り組みも進め、現在、全体の約90％がLEDになっています。

これからも地域と市が協力して、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

次に、府川さんの「高齢者への熱中症対策について」にお答えします。本市では

「暑さ対策日本一」を目指して、高齢者への熱中症対策を始め、様々な事業を展開しています。中学生の皆さんには「暑さ対策サポーター」として、熱中症の正しい知識と予防方法を学び、自ら実践するとともに、地域の皆さんに発信してもらっています。

また、今年から生徒の皆さんの声で、熱中症予防を呼びかける放送を始めました。

こうした取り組みが評価され、環境省などが熱中症予防啓発として推進する「ひと涼みアワード」では、最も優秀な企画などに送られる「トップランナー賞」を、これまでに5回受賞しています。

今年度は、荒川中学校も「優良賞」を受賞しました。

これからも、子どもからお年寄りまで、熱中症ゼロを目指して、きめ細かな事業を展開していきたいと考えています。

## 議席番号22　奈良中学校　小田嶋（おだしま）　凛（りん）　議員
## 通学路の街灯について

小田嶋　凛議員さんの「通学路の街灯について」にお答えします。

大きな道路には、道路の構造などを定めた国の基準に基づいて、国や県、市などの道路管理者が、照明灯を設置することになっていますが、その基準に満たない細い道路には、道路照明灯は設置されません。

そこで、熊谷市では、市民が安心して、安全に生活できる地域環境を整備するため、自治会と協力し、防犯灯を設置していますが、昨年度は、340基を設置し、現在、市内には約16，800基の防犯灯が設置されています。

防犯灯の設置については、原則として地域の状況をよく知っている自治会にお願いし、設置の費用や、電気代などの維持費に対して、市から補助金を交付して、支援するとともに、学校の通学路などで、周りに住宅などがなく、自治会で設置することが適当でない場所については、市で防犯灯を設置しています。このため、部活動の帰りなどで、暗くて危険を感じるような場所がある場合は、保護者を通じて、自治会の役員さんや、学校に話をして、市役所に相談してもらってください。

また、人感センサー式の照明は、最近、よく見受けられますが、不特定多数の通行のある道では、安全確保の観点から、常に明るく点灯している方が、適当であると考えています。

それから、小田嶋さんへのお願いですが、防犯灯が設置された場所は、明るく防犯効果が高くなりますが、頼り過ぎると危険ですので、防犯ブザーを携帯したり、友達と一緒に帰るなど、普段の心がけも忘れないでください。

## 議席番号15　吉岡中学校　府川（ふかわ）　里玖（りく）　議員
## 高齢者への熱中症対策について

府川　里玖議員さんの「高齢者への熱中症対策」に、お答えします。

高齢になると、体温を調節する機能が低下し、体に熱がたまりやすくなるとともに、温度に対する感覚が弱まるため、エアコンの使用や、水分補給が遅れがちとなり、室内でも、熱中症にかかりやすい傾向にあります。

市では、75歳の方を対象に、クールスカーフを配布したり、民生委員さんが、65歳以上のひとり暮らしの方を訪問しながら、熱中症予防のチラシや、ひんやり枕パッド（冷感枕パッド）などの、熱中症予防グッズを配布しています。

民生委員さんの訪問の際には、食事をきちんと取ることや、こまめに水分を補給する

こと、エアコンや扇風機を、積極的に利用することなどの、注意点を伝えるとともに、必要に応じて、生活の様子を市に報告してもらう「見守り活動」も、併せて実施しています。

今年、市内において、熱中症により救急車で運ばれた人の数は100人、うち65歳以上の高齢者は33人で、約3割を占めていました。

昨年は、69人のうち39人が高齢者で、6割近くを占めていたことから、今年は、割合では、およそ半分となりましたが、引き続き、高齢者の皆さんが熱中症にならないよう、きめ細かな支援をしていきたいと考えています。

## 質問番号7　福祉部関係

### 議席番号31　江南中学校　金室（かなむろ） 洋紀（ひろき）　議員

### 快適な老後の生活について

近年熊谷市でも、高齢化が進んでいます。使われていない建物を利用して、デイケアセンターも次々に建てられており、高齢者の住みよい街づくりが進められています。

しかし、高齢者は日常生活の中で不便さを感じているのも現実だと思います。

そこで、高齢者の日常生活の手助けのために、市としてどのような取り組みをしているのか教えてください。

### 議席番号6　大原中学校　新藤（しんどう） 楓香（ふうか）　議員

### 手話言語条例を施行してから変わったことについて

熊谷市は、「ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」を基本理念として、障害者施策を進めていると聞きました。そして、平成29年4月1日に「手話言語条例」が施行されました。手話言語条例が施行されたことで、耳の不自由な方への理解が深まった事例や、今までと変わったところを教えてください。

### 議席番号26　大里中学校　坪井（つぼい） 咲稀（さき）　議員

### 医療費の負担軽減について

熊谷市では、高校卒業まで無料で医療機関を受診できるので、大変助かっています。

この医療費の補助のほかに、医療費の負担を軽くするためにどのようなサービスがあるのか教えてください。

また、高校卒業までの医療費無料化には、どのような意図があったのかも教えてください。

### 答弁

### （市長）

金室　洋紀議員さん、新藤　楓香議員さん、坪井　咲稀議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、金室さんの「快適な老後の生活について」ですが、全国的に高齢化の進む中で、熊谷市も市民の4人に1人が65歳以上となり、一人で暮らしている高齢者も増えています。そこで、生活に不安を感じるひとり暮らしの高齢者の方々に登録をしていただき、民生委員さんを中心に日頃から見守り支援をしていただいたり、趣味やおしゃべりができる、長寿クラブや地域のサークルに参加が進むよう応援をしています。

また、それぞれの人の健康状況に合わせて、介護保険制度の中でも色々なサービスを行い、高齢になっても安心していきいきと暮らせるよう、施策を進めています。

次に、新藤さんの「手話言語条例を施行してから変わったことについて」ですが、条

例の施行後、早速「市報くまがや」において、この条例の考え方を皆さんに広報するとともに、耳の聞こえない方がどのようなことで困っているのか、より具体的に理解してもらうための特集を行いました。
　また、多くの人に広く手話を知ってもらうため、簡単な手話を紹介するコーナーの連載も始めました。
　皆さんも、ぜひ、ご覧になっていただき、手話を身近に感じて、学んでみてください。

　次に、坪井さんの「医療費の負担軽減について」ですが、私は、子育て支援策を市政の最重要課題の一つに位置付けており、中でも、こども医療費無料化の拡充については、政策提言の一つであることから、他市に先駆け、対象年齢を高等学校卒業までに拡大しました。
　これは、子どもの健康を守り、健やかな成長を促すとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を行うことで、市民の皆さんが安心して子どもを生み、育てられる環境を整えることを目的としたものです。
　皆さんも高校に進学しても、引き続き対象となりますので、必要な時には、安心して利用してください。

## 議席番号31　江南中学校　金室（かなむろ） 洋紀（ひろき）　議員
## 快適な老後の生活について

　金室　洋紀議員さんの「快適な老後の生活について」にお答えします。
　生活の中で不便を感じている高齢者の方々を支える具体的な事業としては、見守りも兼ねて昼食を自宅まで配達する配食サービス、寝たきりの家族のいるお宅や、ひとり暮らしの高齢者宅に訪問し、自立した生活が送れるような生活援助サービスなどを行っています。
　また、介護保険制度のサービスとして、ヘルパーが自宅を訪問して食事や入浴の介助、炊事や洗濯などを行うホームヘルプサービス、介護施設に通って食事や入浴などのサービスを受ける日帰りデイサービスなどがあります。
　さらに、ひとり暮らしの高齢者の急病に備えて、自宅で緊急ボタンを押すと消防署やサービスセンターに連絡が入る機器の貸出しを行っているほか、民生委員さん、自治会長さん、警察、消防を始め、新聞や牛乳などの配達事業者の方が協力し、地域に暮らしている高齢者の異変に気づいた場合に、市へ連絡が入るような協力体制の整備を進めています。
　金室さんにも、毎日の通学途上において、「郵便受けが一杯になっている。」、「いつもと様子が違う。」など、何か変わったことを感じたような場合には、ご両親や学校の先生に連絡をいただきたいと思います。
　そうしたことが、高齢者を地域全体で支え、住み慣れた地域で暮らせる社会をつくっていくことにつながると思います。

## 議席番号6　大原中学校　新藤（しんどう）　楓香（ふうか）　議員
## 手話言語条例を施行してから変わったことについて

　新藤　楓香議員さんの「手話言語条例を施行してから変わったことについて」にお答えします。
　まず、条例の考え方に沿って、手話に関する施策を進めるための基本的な方針を

作りました。これによって、市役所全体での共通認識を持って進めるようになりました。

例えば、従前は、市の行事に耳の不自由な方が参加する場合、ご自身で事務所に依頼して、手話通訳者の派遣をしてもらっていましたが、現在は、各行事の担当部署が参加状況を把握し、必要に応じて通訳の配置を行うこととしています。

9月の市議会においても、耳の不自由な方が傍聴する際に、市で通訳者の配置を行いました。

このほかにも、耳の不自由な方が市役所の窓口に来られた時に、手話で対応できるように職員に対して研修を行ったり、広く手話を普及させるために、市民向けの手話講習会を充実させるなど、引き続き、皆さんが、安心して暮らしていけるよう施策を進めていきたいと考えています。

## 議席番号26　大里中学校　坪井（つぼい）　咲稀（さき）　議員
## 医療費の負担軽減について

坪井　咲稀議員さんの「医療費の負担軽減について」にお答えします。

こども医療費以外で医療費の負担を軽減するサービスとしては、母子又は父子家庭の母、父と18歳までの児童・生徒が対象となる「ひとり親家庭等医療費」、一定の基準以上の障害を持つ方が対象となる「重度心身障害者医療費」、生活保護費を受給する世帯の方が対象となる医療費の支給等があります。

また、病気予防の取り組みを行うことで、結果的に医療費全体の減少につながっていく様々な事業も行っています。

例えば、赤ちゃんの時から、予防接種の接種漏れが無いように、スマートフォンの定期接種のスケジュール管理アプリ「ニャオざねのマイワクチンナビ」なども活用し、病気予防に努めています。

また、3歳児健診や保育所、小学校等で、虫歯予防を目的としてフッ素を塗布する事業など、皆さんが健康で元気に成長できるような事業に、これからも取り組んでいきたいと考えています。

## 質問番号8　環境部関係

### 議席番号8　熊谷東中学校　多田（ただ）　陽菜（ひな）　議員

### ムサシトミヨの保護活動について

昔は熊谷市以外でも、たくさんのムサシトミヨが生息していましたが、年々数が減っていき、現在では熊谷市にしか生息しない埼玉県指定の天然記念物※になりました。

ムサシトミヨは熊谷市のシンボルにもなっているので、私たちがしっかり守っていく必要があると思います。今は佐谷田小学校や久下小学校、熊谷東中学校などでムサシトミヨを大切に育て、大きくなったら川に放流したりしています。

そこで、ムサシトミヨをこれからも守っていき、数を増やしていくために熊谷市ではどのような保護活動を行っているのか、教えてください。

※県指定天然記念物「元荒川ムサシトミヨ生息地」のことです。

### 議席番号12　大麻生中学校　秋山（あきやま）　桜子（さくらこ）　議員

### 外来種の駆除について

近年、オレンジ色をした美しく可愛らしい花を見かけます。私たちはポピーと呼んでいます。私の家の周りにも咲いていて、祖母が気に入っていた花でもあります。

しかし、このオレンジ色の花は、ナガミヒナゲシという外来種で、繁殖力が非常に強く、1つの花から1000～2000の種子をばらまくことがわかりました。

そこで、このような外来種を駆除し、日本に古来から生息する植物を保護していくために、外来種の情報を載せたパンフレットを配布したり、熊谷市のホームページに載せたりして、周知することはできないでしょうか。また、こういう外来種について、熊谷市ではどういう対策を行っているのか教えてください。

### 議席番号７　熊谷東中学校　森（もり）　基（はじめ）　議員

### 熊谷市で出ているゴミについて

現在日本では、ゴミの処理について問題が起きていると聞きました。

私たちが住む熊谷のゴミの状況について知りたいと思いました。

そこで、市で行っているゴミ対策にはどのようなものがあるのか、また、ゴミ処理場の処理能力は現在のままで将来にわたって維持できるのか教えてください。

### 答弁

### （市長）

多田　陽菜議員さん、秋山　桜子議員さん、森　基議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

初めに、多田さんの「ムサシトミヨの保護活動について」ですが、熊谷市では、熊谷市にしか生息しない、この大切な魚を守るため、地元の皆さんと協力し、外敵であるアメリカザリガニを駆除したり、川の流れを妨げる藻を刈り取るなどの活動をしています。また、元荒川に流れ込む生活排水をきれいにするなど、ムサシトミヨの生息に適した水質の管理を行い、ムサシトミヨが増えるように努めています。

次に秋山さんの「外来種の駆除について」ですが、 秋山さんが調べたナガミヒナゲシのように、見た目にはきれいな植物でも、外来植物の中には、日本の元々の生態系に大きな影響を与えてしまうものも多くあり、繁殖を防ぐ必要があります。そのため、自宅の庭などで見つけた場合の駆除のお願いを、市のホームページや市報等を通じて市民の皆さんにお知らせをしています。

次に森さんの「熊谷市で出ているゴミについて」ですが、熊谷市では、リデュース・ごみを出さない、リユース・再使用、リサイクル・再生利用といった3Rの理念を基に様々なごみ減量対策に取り組んでいます。地球環境を守るためにはごみを減らし、限られた資源を有効活用することが重要です。

また、ごみ処理施設については、長く使うための工事を行いながら適切な運転管理を行っていますが、老朽化が進んでいる状況もあり、将来に向けた建替えの検討も必要であると考えています。

地球環境を守るため、そしてごみ処理施設を長く使うためには、市民一人ひとりのごみ減量に向けた取り組みがとても重要になってきますので、皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。

## 議席番号8　熊谷東中学校　多田（ただ）　陽菜（ひな）　議員
## ムサシトミヨの保護活動について

多田　陽菜議員さんの「ムサシトミヨの保護活動について」にお答えします。

ムサシトミヨは、水温が10度から18度で、水草が茂るきれいな水でしか生息できないデリケートな魚のため、ムサシトミヨを守るためには、生息している元荒川の水辺環境を保全する必要があります。

このため生息地の管理に当たっては、地元の皆さんと協力し、川の水の管理や元荒川周辺の草刈り、川の流れを維持するための藻狩りや、外敵の駆除などの活動をしているほか、ムサシトミヨが生息しやすいきれいな水を保全するため、周辺の家庭にご協力をいただき、元荒川に流れ込む家庭からの排水をきれいにするための浄化槽の設置を進めています。

また、ムサシトミヨを守り、増やすため、ムサシトミヨ保護センターや羽生市にあるさいたま水族館での増殖活動のほか、多田さんの熊谷東中学校を始め、佐谷田小学校や久下小学校の皆さんにも熱心な増殖活動を行っていただいています。

さらに、多くの皆さんにムサシトミヨについて広く知ってもらうため、観察学習会などの啓発活動にも力を入れています。

これからも、こうした活動を続けて貴重な魚であるムサシトミヨを守り、そして増やしていくよう努めていきます。

## 議席番号12　大麻生中学校　秋山（あきやま）　桜子（さくらこ）　議員
## 外来種の駆除について

秋山　桜子議員さんの「外来種の駆除について」にお答えします。

ナガミヒナゲシは、非常に可憐なオレンジ色の花ですが、一つの実からたくさんの種子が作られ、繁殖力が非常に強いだけでなく、根から周囲の植物の生育を阻害する物質を出し、生態系等に大きな影響を与える外来植物ですので、駆除することが重要です。そのため、市のホームページでも、「家の庭などで生育している場合は、種がで

きる前に抜き取って密封し、燃えるごみの日に出してください。」とお願いしています。
　また、ナガミヒナゲシに限らず、生態系に影響を与えてしまう外来植物はたくさんあります。例えば、オオキンケイギクやアメリカオニアザミなどです。過去に観賞用として輸入されていたものや、外国からの貿易船に紛れ込むなどして、意図せず日本にたどり着いてしまったものもあります。これからも新たな外来植物が見つかることも予想されますが、市のホームページや市報等でお知らせしていきます。
　外来植物は、可憐でかわいいものもあり、駆除することに抵抗もありますが、自然の生態系を守っていくため、ご協力をお願いします。

## 議席番号７　熊谷東中学校　森（もり）　基（はじめ）　議員
## 熊谷市で出ているゴミについて

　森　基議員さんの「熊谷市で出ているゴミについて」にお答えします。
　ごみは最終的に焼却処理もしくは埋立処理により処分されています。焼却処分は二酸化炭素を排出するため地球温暖化の原因になると言われており、埋立て処分では新たな処分場の確保が難しいという問題が生じています。
　これらの問題を解決するためには、3Rの推進がとても重要です。そのため熊谷市では、カン・ビン・ペットボトルや新聞などの紙資源物は、分別収集をしてリサイクル処理をしています。また、学校給食センターの調理くずや給食の食べ残しなどは肥料を作る原料とし、学校やPTAなどで行うリサイクル活動には奨励金を出して活動を推奨しています。さらに、レジ袋の削減や資源物の店頭回収などごみの減量に積極的な店舗を紹介するエコショップ認定制度に取り組むなど様々な施策を行いごみの減量化に努めています。
　ごみの処理施設については、燃えるごみの焼却施設と燃えないごみ及び資源物の中間処理施設がありますが、いずれの施設も老朽化が進んでいることから工事や修繕を行いながら適切な運転管理を行っていますが、将来に向けた建替えの検討も今後、行っていく予定です。
　また、焼却灰を埋めていた最終処分場は焼却灰をセメント原料としてリサイクルをしているため、今後数十年の使用が維持できる見込みです。
　これからも地球環境を守るため、中学生の皆さんにもごみの減量について自ら考え行動していただけたらうれしく思います。

## 質問番号9　産業振興部関係

### 議席番号4　富士見中学校　鈴木（すずき）　彩心（あみ）　議員
### 他のまちの人々を集められる大型商業施設について

最近、中高生や小学生が、熊谷市以外で買い物をすることが多いと耳にします。熊谷にある商業施設だけでははやりのものなどが手に入らないからなのではないでしょうか。

また、2019年には、ラグビーワールドカップが開催されます。その際、外国の方が多く訪れると思うので、そういった方々にも楽しんでもらうことのできる商業施設があると、より熊谷市の活性化につながると思います。

そこで、熊谷市民だけでなく、他のまちの人も多く集めることができる大型商業施設の建設予定はありますか。

### 議席番号16　吉岡中学校　浅見（あさみ）　楓香（ふうか）　議員
### 「熊谷リフレッシュタイム（仮称）」の提案について

現在、日本では、健康に対する関心がとても高まっています。働く人の間では、運動不足による肩こりや腰痛、肥満などの生活習慣病が大きな課題となっています。長時間同じ姿勢をとり続けることによって血行不良が生じ、その積み重ねによって、様々な健康への弊害が生まれていると知りました。

そこで、熊谷市内で営業しているお店や会社で働く人を対象に、毎日15時から15分間を「熊谷リフレッシュタイム（仮称）」と名付け、体操やストレッチ、読書や休息等を行う時間として、働く人の健康維持と仕事の効率アップをめざす取り組みを提案します。

### 答弁
### （市長）

鈴木　彩心議員さん、浅見　楓香議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、鈴木さんの「他のまちの人々を集められる大型商業施設について」ですが、熊谷市では、これからのまちづくりの方向性や教育、福祉、産業などの分野ごとの整備目標を定めた「総合振興計画」を策定しています。まちづくりに関する分野では「中心市街地の活力・にぎわい創出プロジェクト」と位置づけ、その目標に向かって、現在様々な取り組みを進めています。

鈴木さんの、郊外に大型商業施設を建設することも、まちづくりの一つの方法ですが、既に中心市街地に5つの大型商業施設がありますから、これらの施設を核として中心市街地の活性化を進めたいと考えています。また、2019年のラグビーワールドカップの開催時には、全国そして世界中からお客様が集まります。商業施設を運営している皆さんも、これを絶好の機会と捉え、様々な取り組みを始めておりますので、中心市街地の活性化が更に図られるものと期待しています。

次に、浅見さんの「『熊谷リフレッシュタイム（仮称）』の提案について」ですが、最近は、長時間労働が大きな問題になっています。長時間労働は人にストレスを与え、スト

レスは心身をむしばむと言われています。
　このような中、国では「働き方改革」を推進しており、熊谷市でも、休暇を取って、地域の行事に参加したり、家族との時間を増やすことでリフレッシュする啓発運動に取り組んでいます。
　私も、家族との時間の確保や趣味の水泳や映画鑑賞を通じて、リフレッシュを心がけていますが、仕事の内容によって、様々なリフレッシュの方法が考えられます。浅見さんの提案についても、熊谷市で実施している啓発運動に組み入れられるか検討してみたいと思います。

## 議席番号4　富士見中学校　鈴木（すずき）　彩心（あみ）　議員
## 他のまちの人々を集められる大型商業施設について

　鈴木　彩心議員さんの「他のまちの人々を集められる大型商業施設について」にお答えします。
　熊谷市では、イオン熊谷店、八木橋百貨店、アズ熊谷、ティアラ21、ニットーモールといった大型商業施設が、熊谷駅や市役所、郵便局やオフィスビルが集まっている中心市街地内に立地していて、こうした大型商業施設に、市内外から人が集まることで、まち全体がにぎわい、埼玉県北部の中心的な都市として発展してきました。
　しかしながら、周辺のまちに新しいタイプの大型商業施設ができたことで、熊谷市に買い物に訪れるお客様も減っているようです。
　このため、まちなかの大型商業施設では、お客様が楽しんでお買い物ができるよう、知恵を絞って施設のリニューアルなど、様々な取り組みを進めています。
　また、市としても、まちなかの商業施設や専門店を応援するため、平成27年度には、総額24億円、本年10月には、総額5億5千万円のプレミアム付き商品券の発売や、共同販売促進イベント「熊谷街ナカスタンプラリー2017」を支援しているほか、まちなかの環境整備として、商店街の街路灯のリニューアル整備にも取り組んでいます。
　12月になると、大型商業施設や専門店では、クリスマスに向けた様々なイベントが企画されます。皆さんも、お友達や家族と一緒に、まちなかショッピングを楽しんでください。

## 議席番号16　吉岡中学校　浅見（あさみ）　楓香（ふうか）　議員
## 「熊谷リフレッシュタイム（仮称）」の提案について

浅見　楓香議員さんの「『熊谷リフレッシュタイム（仮称）』の提案について」にお答えします。

熊谷市内で働く皆さんが健康で、効率よく働き続けられる環境づくりはとても大切なことです。

熊谷市では、国で進めている「働き方改革」のモデル都市として、働く皆さんが有給休暇を利用して、地域の行事に参加したり、家族と一緒に過ごす時間を確保することで、仕事のストレスを解消して、健康維持や仕事の効率アップにつなげる運動に取り組んでいます。

皆さんにも学校を通じて、秋休みや、妻沼聖天山の秋季例大祭の時期に有給休暇を取得して、家族と一緒に過ごす時間の確保を呼びかける啓発チラシを配布させていただきました。

浅見さんから提案された「熊谷リフレッシュタイム」については、市内のお店や会社によりそれぞれ事情が異なるため、一律、15時からの開始をお願いすることは難しいかもしれませんが、まずは、「チャレンジステージくまがや」という市内の事業者向けの情報を発信するホームページを使って、休息時間を確保することは、働く人の健康維持や仕事の効率アップにつながることや、効果的なリフレッシュの方法などを紹介したいと思います。

## 質問番号10　産業振興部関係

### 議席番号28　妻沼東中学校　中原（なかはら）　彩花（あやか）　議員

### ラグビーワールドカップ開催時の稲わらの焼却について

2019年、ラグビーワールドカップが熊谷市で開催されます。開催予定の9月から11月までは、稲わらの焼却の時期と重なります。稲わら焼却については、防災無線、市報などで自粛を呼びかけていますが、焼却があると、日常生活に支障を来すことがあります。

ラグビーは激しいスポーツであるため、稲わらの焼却による選手の健康への影響が心配です。また、試合を見に来る多くの観客への影響や試合の妨げになることも考えられます。

そこで、熊谷市としての対策や計画はありますか。

### 議席番号29　妻沼西中学校　堀越（ほりこし）　叡人（えいと）　議員

### 妻沼の特産物について

私は妻沼で育ってきました。妻沼には国宝の聖天様やいなり寿司などの有名なものがあります。また、妻沼は、農業が盛んでもあり、ヤマトイモやネギなどの、県内有数の産地になっています。

そこで、妻沼の農作物のPR活動などはどのように行っているのか教えてください。行っているとしたら、私たち中学生が協力できることはありますか。

### 答弁

### （市長）

中原　彩花議員さん、堀越　叡人議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

中原さんと堀越さんのお二人から、農業に関した質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

農業は人が生きていくために必要な食料を生産する産業で、農家の皆様の努力と太陽や水、大地の恵みを得て成り立つものです。

熊谷市の農業は、荒川と利根川の二大河川による肥沃な耕地と古くから整備された用排水により、水稲・麦の二毛作を中心に発展してきました。特に、小麦は「麦翁（ばくおう）」と呼ばれている権田 愛三（あいぞう） 氏の努力もあり、全国でも有数の産地となっています。

稲わらの焼却については、環境面からも様々な課題があると思います。ラグビーワールドカップ2019大会を市民一丸となって成功に導けるよう、焼却の自粛について周辺農家の皆さんと話し合っていきたいと思います。

また、妻沼地域では野菜の生産が盛んで、ネギ・ニンジン・やまといもは、県内2位の生産量を誇っていて、品質においても市場から高い評価をいただいています。

妻沼地域を始め、熊谷市の農産物をPRし、多くの消費者に知っていただくことは、大変大事なことなので、地産地消を進めているほか、今年の5月には農協の組合長と一緒に、東京の日本橋で熊谷の農産物や加工品の紹介を行いました。これからも私が先頭に立って、熊谷の農産物のPRに取り組みますので、中学生の皆さんも、地元

の農業や農産物に興味や愛着を持ってください。

## 議席番号28　妻沼東中学校　中原（なかはら）　彩花（あやか）　議員
## ラグビーワールドカップ開催時の稲わらの焼却について

中原　彩花議員さんの「ラグビーワールドカップ開催時の稲わらの焼却について」にお答えします。

お米を収穫した後に残る稲わらは、家畜の飼料や家畜舎の敷きわら、野菜生産での保温資材などへの活用がありますが、いずれも使用量が少なく、多くは田んぼへのすき込みや焼却という方法で処理されています。

すき込みとは、稲わらを細かく刻んで、トラクターを使って土に混ぜ、時間をかけて良い土づくりをするものですが、熊谷市では、田んぼで米と麦を作る二毛作が盛んで、稲刈りから麦を作るための準備期間が短いため、焼却処理をしている農家もあります。

焼却することで、稲の病気や害虫の防除効果があり、農業を営むためにやむを得ない面もあり、法律で禁止されているものではありません。

しかしながら、健康被害や洗濯物への臭いなど周辺住民へ影響を及ぼす場合があるため、熊谷市では、防災行政無線や市報、農業委員会だより、市のホームページを利用して、焼却の自粛を呼びかけるとともに、職員が現地へ行って、自粛のお願いをしています。

ラグビーワールドカップ2019大会が熊谷市で開催されることは、歴史的にも本市のまちづくりにとっても最大のイベントとなりますから、全国から、そして世界中から訪れる、たくさんのお客様を最高のおもてなしで、お迎えをしたいと考えています。

観戦者や選手の皆さんに最高の環境を提供できるよう、開催期間中の稲わらの焼却の自粛について、農家の皆さんと話し合いたいと思います。

## 議席番号29　妻沼西中学校　堀越（ほりこし）　叡人（えいと）　議員
## 妻沼の特産物について

堀越　叡人議員さんの「妻沼の特産物について」にお答えします。

農業は熊谷市の主要な産業の一つで、各地域で特色のある作物が作られています。特に妻沼地域は利根川が生んだ肥沃な農地を利用して、特産のネギを始め、ニンジン、やまといも、カブなどの産地となっていて、新鮮でおいしい野菜を消費者に提供しています。

農産物のPRについてですが、野菜パンフレットを作成して、多くの人が集まる妻沼道の駅や聖天様の休憩所などで配布するとともに、ホームページやSNSなどでも発信しているほか、野菜を使った料理のレシピカードも作っています。

また、市長が自ら先頭に立ってPRや販売を行うトップセールスにも取り組んでいます。

このほか、毎年11月に開催される産業祭では、農産物の品評会を開き、市内外からの来場者にご覧いただくとともに、会場では農協や農家が取れたての野菜を販売しています。今年は、今週の土日に開催しますので、ぜひお出かけください。

また、妻沼には「妻沼茶豆」という大豆がありますが、この大豆の普及のため、生産者や使用者と協力して、チラシなどで情報を発信したり、収穫祭を開催したりしています。

中学生の皆さんには、学校ファームなどの農業体験に積極的に参加するなどして、農作物、農業に関心を持ち、理解し、愛着を持っていただきたいと思います。そして、大人になっても、皆さん一人ひとりが、熊谷の農産物の新鮮さ、おいしさをPRしていただければ幸いです。

## 質問番号11　都市整備部関係

### 議席番号10　玉井中学校　植村（うえむら）　里菜（りな）　議員

### 籠原駅前の開発について

現在、籠原駅の北口では大規模な開発が進められています。この開発は今どのような状況で、いつ頃開発事業が終了する予定ですか。

また、籠原駅の周りでは、今後、ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピックを踏まえた更なる開発事業はあるのでしょうか。

### 議席番号18　別府中学校　三上（みかみ）　喜帆（きほ）　議員

### 熊谷桜堤の保護について

熊谷桜堤は、春になると熊谷市内外からたくさんの人が訪れ、熊谷でも有数の観光名所です。日本さくら名所100選にも選ばれていて、全国的にも有名な場所です。

しかし、熊谷桜堤に植えてあるソメイヨシノは寿命が60年ほどといわれています。すでに50～100年ほどの歴史があるこの熊谷桜堤を今後も守っていくために、活動をしなくてはいけません。

熊谷市の誇りでもある桜堤を保護する活動として、どのようなことが行われているのか教えてください。

### 答弁

### （市長）

植村　里菜議員さん、三上　喜帆議員さんの　質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、植村さんの「籠原駅前の開発について」ですが、熊谷市では、籠原駅を中心とする西部地区において、現在、北口周辺の籠原中央第一土地区画整理事業を施行中です。その他、西部地区では籠原駅南口地区、玉井地区、別府地区などにおいて、区画整理事業によるまちづくりを行ってきました。

土地区画整理事業は、道路、公園、上下水道などの公共施設を整備し、住みやすい環境を整える総合的なまちづくりの手法の一つで、熊谷市内の他地区でも数多く行われている事業です。

現在、北口地区については、駅前広場の整備工事をラグビーワールドカップ 2019の開催に間に合うよう整備を行っています。

駅前広場が完成すると、JR高崎線の始発駅にふさわしい熊谷市の西の玄関口となり、以前よりも利便性も高まることから、新たに民間による開発が進んでいくものと期待しているところです。

引き続き、快適で魅力のある、人にやさしいまちづくりを進めていきたいと考えています。

次に、三上さんの「熊谷桜堤の保護について」ですが、熊谷桜堤は、古くから桜の名所として知られており、平成2年には、「さくら名所100選」に選定されています。また、平成8年には、熊谷桜堤において アメリカのポトマック川と荒川が姉妹河川として提携するなど、由緒ある歴史と美しさを称えられているところです。

春になると、約500本のソメイヨシノが2キロメートルに及ぶ桜のトンネルをつくり、この時期に開催される「さくら祭」では大勢の人々でにぎわいます。

現在の桜堤の桜は、荒川の堤防築造に合わせて、昭和16年から植栽が始まっており、老齢化が進んだ桜が多いことから、剪定（せんてい）等日常的な維持管理に加え、弱っている桜の植替えを行ってきました。

今後は、専門家による調査などを行い、将来、皆さんが今と同じ美しい桜の鑑賞を楽しむことができるよう、熊谷桜堤を守り続けたいと思います。

## 議席番号10　玉井中学校　植村（うえむら）　里菜（りな）　議員
## 籠原駅前の開発について

植村　里菜議員さんの「籠原駅前の開発について」にお答えします。

現在、籠原駅北口駅前では土地区画整理事業により 面積 約5,300平方メートル、今までの約3．5倍の広さのロータリー形状の駅前広場となる整備工事を進めています。

今年度は、上下水道などの地下埋設物工事、照明灯や車道・歩道などの整備工事を段階的に行っているところで、来年の3月末を目標に、自動車や歩行者が安全に通行できるように進めています。

そして、来年度には、バスシェルターなどの設置や植栽、また、併せて暑さ対策として冷却ミストの設置も計画しており、ラグビーワールドカップ2019に間に合うよう駅前広場を完成させる予定となっています。

また、ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピックに向けて新たな市有施設建設などの予定はありませんが、熊谷市を訪れる多くの方々に対し、皆さんと一緒におもてなしの心で歓迎してまいりたいと考えています。

## 議席番号18　別府中学校　三上（みかみ）　喜帆（きほ）　議員
## 熊谷桜堤の保護について

三上　喜帆議員さんの「熊谷桜堤の保護について」にお答えします。

熊谷市が全国に誇れる桜の名所である熊谷桜堤を守り、未来に継承していくために、日頃から枯枝の除去や病害虫に対する消毒、下草の除草、自動車等通行の妨げになる枝の剪定（せんてい）等の管理を行っています。

また、三上さんの質問にもありましたが、ソメイヨシノの寿命と言われている樹齢60年を超えているソメイヨシノが多数存在しており、老齢化が心配されることから、平成24年度に職員による全てのソメイヨシノの外観調査を行い、樹齢の想定や枝の伸び具合、病気の有無等を調べました。

その調査結果に基づき、これまでに42本の植替えを行っています。

今後、更にソメイヨシノの老齢化が進んでいくことから、外観調査だけではなく幹内部が腐っているかなどを調査する専門的な診断を行い、計画的に植替えをしていきたいと考えています。

この調査の費用には、みどり豊かで快適なまちづくりの推進を目的として、多くの皆様からいただいた寄附金を積み立てている「熊谷市みどりの基金」を利用する予定です。

これからも、春の訪れとともに、きれいな花が咲く熊谷桜堤となるよう保護に努めていきたいと考えています。

## 質問番号12　建設部関係

### 議席番号1　荒川中学校　松本（まつもと）　京太郎（きょうたろう）　議員

### 歩道整備について

母と会話をしていたときに、歩道が狭くて朝夕の登下校には危険な場所がたくさんあるねという話題があがりました。皆が安心して生活することができる環境作りはとても大切であると思います。

しかし、そのような場所はたくさんあるので、一度に整備するのは難しいと思います。

そこで、整備する道路の優先順位はどのように決められているのか教えてください。

### 議席番号23　大幡中学校　秋庭（あきにわ）　健佑（けんすけ）　議員

### 下水道の整備について

現在熊谷市では、下水道が整備されている地域と整備されていない地域があります。私が住んでいる地域は、下水道が整備されていません。そのため、私の家には浄化槽があります。浄化槽を維持するためには、くみ取りや定期点検、法定点検などお金がかかります。さらに、修理等のメンテナンスや修理代も自己負担となります。

そこで、私の住んでいる地域だけでなく、熊谷市全体に下水道を整備していただきたいと考えていますが、今後の下水道整備はどのように進んでいくのか教えてください。

### 答弁

### （市長）

松本　京太郎議員さん、秋庭　健佑議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、松本さんの「歩道整備について」にお答えします。

熊谷市が歩道整備を行っている道路は、幹線道路と生活道路の大きく2種類に分類されますが、幹線道路では、現在、ワールドカップ関連道路とし整備を進めている都市計画道路　玉井東通線や第2北大通線、また、自転車走行環境の整備を合わせて行う市街地の北大通線などがあります。

機能的で魅力のあるまちづくりを進めるため、地域間の連携強化や広域的なつながりを図る道路網を整備する上で、効果の高い路線を、計画的に整備しています。

生活道路につきましては、地元自治会等からの整備要望に対して、公平で効果的に道路整備事業を実施するため、「熊谷市道路事業評価システム」を平成20年1月1日から導入し、整備要望が出された道路の評価をして、効果の高い路線から順次整備を進めているところです。

特に市街地では、道路の拡幅が困難な箇所が多いため、歩行者の安全を確保するための対策として、通学路交通安全対策事業や警察と連携したゾーン30整備事業など、安心で安全な道路環境づくりを進めています。

次に、秋庭さんの「下水道の整備について」にお答えします。

熊谷市では、河川の水質保全や生活環境の改善を図るため、「熊谷市生活排水処理基本計画」により、市内全域を対象として、生活排水処理施設の整備を効率的かつ

効果的に進めています。

この計画に基づき、住宅等が密集している市街地では公共下水道の整備を進め、農村部の集落では農業集落排水施設の整備を行っています。

また、その他の区域では、各戸単位で合併処理浄化槽を設置し、処理することとしており、市では普及促進のため、合併処理浄化槽へ転換する費用の一部や維持管理費用の一部を助成する制度を設けています。

これからも、公共下水道を始めとする生活排水処理施設を計画的に整備し、市民の皆様が快適で衛生的な生活ができる環境づくりを進めていきます。

## 議席番号1　荒川中学校　松本（まつもと）　京太郎（きょうたろう）　議員
## 歩道整備について

松本　京太郎議員さんの「歩道整備について」にお答えします。

歩道を設置するためには、通学路や交通の激しい道路など設置の必要性を十分検討し、歩道を設置するための用地を確保することが必要となります。

このため、幹線道路の場合は、新たに道路用地を確保することから、全ての道路に歩道設置をしていますが、地域に密着した生活道路の場合は、沿線の皆様から用地協力の同意を自治会長さん等に取りまとめていただき、道路整備の要望書が提出された後に、整備の優先順位を決定するための「熊谷市道路事業評価システム」に従って、利用状況や危険度、事業効果などの事業実施評価を行い、市全体の地域バランスを考慮し整備を行っていますが、歩道部分の用地まで確保できず、歩道の設置まで整備される道路は、ほとんどない状況です。

そのため、歩道の設置等が困難な道路につきましては、ポストコーンなどによる車道との分離やグリーンベルト等の路面標示を設置し運転者に安全運転を促す対策を行っています。これからも、危険箇所がなくなるように、安心で安全な道路環境づくりに努めていきます。

## 議席番号23　大幡中学校　秋庭（あきにわ）　健佑（けんすけ）　議員
## 下水道の整備について

秋庭　健佑議員さんの「下水道の整備について」にお答えします。

「熊谷市生活排水処理基本計画」では、公共下水道や農業集落排水施設の整備と、合併処理浄化槽の普及の中から、その進捗や費用対効果の高い整備手法の方針を地域ごとに定めています。

いずれの排水処理施設も、生活環境の改善や公共水域の水質保全に欠かすことができないため、社会環境の変化に対応し、計画的に整備を進めています。

公共下水道の整備は、昭和31年から荒川左岸地区の市街化区域で進めてきましたが、多額の費用と時間を要することから、現在までの整備率は市街化区域の約72パーセントとなっています。

秋庭さんがお住まいの大幡地区内でも、下水道整備の認可を受けている区域があり、今年度も幹線となる路線の整備を行って、地区の皆さんが、一日も早く公共下水道を利用できるよう、計画的に事業を進めています。

## 質問番号13　水道部関係

### 議席番号2　荒川中学校　花岡（はなおか）　瑚流（こはる）　議員
### 熊谷ブランド　おいしい水について

荒川中学校では、熱中症予防にこまめな水分補給をするよう呼びかけています。

また、雪くまは熊谷市のおいしい水から作られている氷を使用していると聞きました。

保健委員会で水道庁舎を訪問した時には、熊谷市は地下水が豊富だと聞きました。

そこで、ラグビーワールドカップや暑さ対策に向けて熊谷市のおいしい水を販売する予定はありますか？

### 答弁
### （市長）

花岡　瑚流議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

水道は、市民生活に欠くことができない重要なライフラインであり、50年後、100年後を見据え、安全でおいしい水を安定供給することが水道事業者の使命と考えています。

熊谷市は、荒川と利根川に囲まれ、特に、荒川流域では、昔から井戸を掘れば水が出ると言われるほど、質、量ともに豊富な地下水に恵まれていましたので、水道水の水源は、全て地下水で賄ってきました。

しかし、昭和59年からは、地盤沈下の防止や水質事故に備えるために、利根川の水を水源とする県営水道の受水を開始し、現在では、地下水が約7割、県からの受水が残りの約3割となっていますが、県内では、受水割合は、低い方から5番目です。

今年度には、熊谷市の水道事業の目指す将来像とその実現のための方策を示した「熊谷市水道事業ビジョン」や「熊谷市水道事業基本計画」などを策定します。

そして、これらの計画に沿って事業を推進し、次の世代にしっかり熊谷の水を引き継げるように、健全な財政運営に努めていきたいと考えています。

### 議席番号2　荒川中学校　花岡（はなおか）　瑚流（こはる）　議員
### 熊谷ブランド　おいしい水について

花岡　瑚流議員さんの「熊谷ブランド　おいしい水について」にお答えします。

花岡さんが水道庁舎を訪れた際、水道水と地下水の飲み比べはされたでしょうか。先ほど市長がお答えしたように、熊谷市は、昔から地下水に恵まれ、以前には、当時の厚生省（現在の厚生労働省）の「おいしい水研究会」の水道水ランキングで、全国2位になったこともあります。

おいしい水といっても、水に含まれるミネラル分や臭い、水温など、感じ方にも個人差がありますが、これからも安全な水道水を皆様にお届けしていきます。

最近では、おいしい水として各地の名水が商品化され、比較的安価でスーパーやコンビニ等にペットボトルとして並んでいるのを見かけます。また、県内の市町でも、記念事業や災害時の備蓄などを目的に製造し、配布や販売をしているとのことです。

熊谷市でも、平成18年から旧大里商工会が地下水を原料とした「くまがやの水　友山」を製造し、販売やイベントでの配布を行ってきましたが、売上げの減少などにより、現在あるペットボトルの賞味期限の切れる今年度末をもって、残念ながら終了予定と聞いています。

花岡さんからのご提案ですが、近隣市などの事例を参考にしながら、効果的な方法など、前向きに考えていきたいと思います。

## 質問番号14　教育委員会関係

### 議席番号27　妻沼東中学校　上杉（うえすぎ）　俊介（しゅんすけ）　議員

### 全教室へのエアコン・扇風機の設置について

私の学校の美術室や、生徒会室にはエアコンや扇風機がなく、暑い日は、外からの風だけを利用しています。そのため、その日の暑さによっては、いつ熱中症になってしまうか分からないときもあります。

そこで、今後、エアコンや扇風機を全教室に設置する予定はありますか。

### 議席番号25　大里中学校　門叶（とがの）　翔汰（しょうた）　議員

### 小中学生による市内放送について

今年度から、朝の登校の見守りのお願いと、熱中症への注意喚起の放送は市内の小中学生が声を担当するようになりました。

なぜ、このように市内の小中学生が放送を担当するようになったのですか。

また、それによって変わったことがあったのか教えてください。

### 答弁

### （市長）

上杉　俊介議員さん、門叶　翔汰議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、上杉さんからの「エアコン・扇風機の設置について」ですが、エアコンについては、暑さ対策として近隣の市町村に先駆けて、平成23・24年度に全普通教室に、また、26年度には普通教室での授業が難しい理科室・音楽室等の特別教室や少人数教室に優先して設置をしました。

また、扇風機については、17・18年度に普通教室等に設置しています。

皆さんは、熊谷市の宝であると考えておりますので、皆さんの教育環境が良くなるよう、 これまで校舎や体育館の耐震化やエアコンの整備をしてきました。耐震性が不足している体育館の建設が今年度で終了しますので、これからは、きれいで臭わないトイレの改修や校舎の老朽化対策に取り組んでいきたいと考えています。

次に、門叶さんからの「朝の登校の見守りと、熱中症への注意喚起の放送について」ですが、小学生が朝の見守り放送を担当するようになった理由は、普段は見守られている側の小学生が放送することで、より市民の方の理解が得られ、安全に登校できると考えたからです。

また、中学3年生の熱中症への注意喚起の放送についてですが、熊谷市では、暑さ対策日本一を目指し、平成22年度から市役所若手職員による「暑さ対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、毎年多くの暑さ対策を企画し、実施しています。

この取り組みにより、環境省を始め、全国7，000件以上の民間会社や自治体で組織する「熱中症声かけプロジェクト」の「ひと涼みアワード」において、ここ6年間で5度の「トップランナー賞」を受賞することができました。

この暑さ対策プロジェクトチームの提案に基づき、今年度から実施している「地域へ

発信！中学生サポーター事業」の一環として、2年生までに学んだ「暑さ対策」の知識を地域へ発信して、熱中症ゼロの輪を広げるとともに、中学生が放送することにより、中学生の皆さん自身が熱中症予防についてより自覚を強く持つためでもあります。

また、この「中学生サポーター事業」で、荒川中学校生徒が、イオン熊谷で市民にチラシ配布による熱中症予防の啓発を行うなどの活動が認められ、優良賞を受賞し、熊谷市とのダブル受賞となりました。

「朝の見守り」「熱中症への注意喚起」ともに市民の方からは、好意的なご意見をいただいており、効果もあり、やってよかったと思っています。

## 議席番号27　妻沼東中学校　上杉（うえすぎ）　俊介（しゅんすけ）　議員
## 全教室へのエアコン・扇風機の設置について

上杉　俊介議員さんの「全教室へのエアコン・扇風機の設置について」にお答えします。

先ほど市長が言ったとおり、現在、小中学校の普通教室や少人数教室と、理科室や音楽室等の特別教室にエアコンを設置していますが、皆さんを暑さから守り、快適な環境で学習に取り組んでいただくために設置したものです。

教育委員会としては、皆さんの健康を第一に考えて、扇風機やみどりのカーテンなどの暑さ対策を組み合わせながら、節電と快適な学習環境を両立していただきたいと思います。

なお、エアコンを設置してない特別教室等については、例えば、美術等の授業を各学校の教育計画を変更することによって、夏場の暑い時期には、エアコンのある普通教室でできる内容を、涼しい季節に美術室等での内容を実施するなどの方法を、校長先生方と検討していきたいと考えます。

## 議席番号25　大里中学校　門叶（とがの）　翔汰（しょうた）　議員
## 小中学生による市内放送について

門叶　翔汰議員さんの、「小中学生による市内放送について」にお答えします。

小学生による朝の見守り放送は、今年の4月から、小学生が地域の方に登校の見守りをお願いする内容に変更し、担当する小学校がおよそ1週間ごとに交代して行っています。

市民の方からは、「気持ちが込められた子どもの声で、気持ちよく見守りができる。」「子どもたちの安全のために協力したい」等の好意的なご意見をいただいています。

中学生による熱中症への注意喚起の放送は、熱中症の危険性が高まる6月から9月までの平日に行いました。担当する中学校は1か月ごとに交代し、今年度は、荒川中学校、富士見中学校、大原中学校、熊谷東中学校の4校に担当してもらいました。全部の中学校に放送の担当をしてもらうのに、4年間かかりますので、地域のバランスを考え実施していきます。

来年度は玉井中学校、大里中学校、妻沼東中学校、江南中学校と、市内全地区の学校からの放送となるようにしたいと考えています。

市民の方からは、「中学生が熱中症への注意喚起の放送をするようになり、「これまでよりも、農作業の手を休めて水分補給するようになった」「こまめに冷房のスイッチを入れるようになった」等の声を聞いています。

小学生、中学生の皆さんに放送してもらうようになった理由は、先ほど市長が言った

とおりですが、どちらもこのように市民の方から大変好評をいただいており、これからも皆さんの協力を得ながら続けていきたいと考えています。

# 質問番号15　教育委員会関係

## 議席番号20　三尻中学校　時田（ときた）　栞（しおり）　議員

### 図書館の利用時間について

神奈川県、佐賀県や宮城県などでは、書店が運営する図書館があり、利用時間が長く、夜でも利用できたり、閉館日が少なかったりするそうです。普段、私が図書館で本を借りたいと思った時は、図書館が家から遠く、また、両親が働いているので、土・日しか連れて行ってもらえません。夜でも本を借りられるようになれば、本を借りる機会も増えると思います。

そこで、図書館の利用時間を長くする取り組みをする予定があるか教えてください。

## 議席番号9　玉井中学校　國分（こくぶん）　裕希（ひろき）　議員

### 熊谷市の文化財について

熊谷市には長い歴史があり、文化財も多くあります。特に歓喜院聖天堂は、平成24年に国宝に登録され、多くの市民が知っていると思います。

しかし、その他の文化財に関して、私は今まであまり名前を聞くことがありませんでした。多くの人が市内の文化財を知り、身近に感じることができるようにPRをすることが大事だと思いました。

「熊谷観光局」というホームページでは文化財を含めた散策コースを紹介しています。

そこで、このホームページを含め、熊谷市は歓喜院聖天堂以外の文化財を今後どのようにPRしていく予定ですか。

## 答弁

### （市長）

時田　栞議員さん、國分　裕希議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、時田さんの「図書館の利用時間について」ですが、熊谷市には、熊谷図書館、大里図書館、妻沼図書館、そして、江南図書館と、4つの市立図書館がありますが、時田さんが住んでいる市の西部地区は、どの図書館からも遠く、不便を感じていることは承知しています。

利用時間については、土・日・祝日について、利用者の多い熊谷図書館について延長を検討しています。

また、直接図書館に出向くほかにも、パソコンなどを利用することにより、本が借りられるサービスなどもありますので、ぜひ、こちらも利用してもらえればと思います。

次に、國分さんの「熊谷市の文化財について」ですが、熊谷市には、現在、國分さんが知っている国宝歓喜院聖天堂を始め、数多くの文化財があります。

これらの文化財は、熊谷の歴史を物語る上で大変貴重な文化遺産として、地域の皆さんの協力により、大切に守り伝えられてきました。

市では、ホームページ、「熊谷デジタルミュージアム」や市史刊行物などを活用して、文化財について広く情報発信しています。

引き続き、様々なメディアを利用してPRし、多種多様な文化財が、身近に感じられ

るよう取り組んでいきたいと考えています。
　國分さん、普段から文化財に大きな関心を持っていただき、大変ありがとうございます。市としても、文化財を保護していく上で、大変心強く感じています。
　これからも、地域の宝である文化財を、大切に守り、次の世代につなげていく、文化財の応援団であり続けてほしいと思います。

## 議席番号20　三尻中学校　時田（ときた）　栞（しおり）　議員
## 図書館の利用時間について

　時田　栞議員さんの「図書館の利用時間について」にお答えします。
　市立図書館は、平成27年度までに4館全ての平日の閉館時刻を、それまでの午後5時から、7時へと延ばしました。
　なお、土・日・祝日については、現在午後5時までですが、市長がお答えしたように、利用者の多い熊谷図書館については、午後7時までの延長を検討しています。
　また、熊谷図書館熊谷駅前分室と、時田さんが通学する三尻中学校に近い熊谷文化創造館さくらめいとでは、パソコンなどから予約した図書館の本やDVDを、休館日を除いて、午後1時から9時まで受け取ることができます。
　また、ブックポストも置いてありますので、借りた本などをいつでも返すことができます。
　さらに、図書館のホームページからは電子書籍も利用できます。
　中学生の皆さんにも、これらのシステムを利用して、読書に親しんでいただきたいと思います。
　熊谷市では、利用しやすく、市民の皆さんに愛される図書館となるよう、利用時間も含めて努力していきたいと考えています。

## 議席番号9　玉井中学校　國分（こくぶん）　裕希（ひろき）　議員
## 熊谷市の文化財について

　國分　裕希議員さんの「熊谷市の文化財について」にお答えします。
　市内には、国宝歓喜院聖天堂のような建造物のほか、絵画、彫刻、考古資料などの有形の文化財、お祭りや伝統行事などの無形の民俗文化財、国指定史跡の宮塚古墳や星溪園などの記念物など、多種多様な300件を超える指定文化財などがあります。そして、これ以外にも、熊谷市の歴史や文化を物語る、貴重な文化遺産が、守り伝えられています。
　また、江南文化財センターが運営するインターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」、ブログ「熊谷市文化財日記」、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「くまここ」などで、文化財などについて、積極的に情報発信をしています。
　特に、無形民俗文化財については、地域に根差し広められた芸能とともに、未来へと伝えることを目的として、毎年11月23日に、「地域伝統芸能今昔物語」を開催し、多くの市民の皆さんに、観覧していただいています。
　國分さん、「熊谷観光局」のほかにも、先程の「くまここ」には、文化財、神社、彫刻など見どころを案内する5つの散策コースが紹介されています。こちらもぜひ利用してみ

てください。
　これからも、引き続き、文化財を始めとする文化遺産について、機会を見つけ、広く、そして積極的に情報発信をし、PRしていきますので、「熊谷デジタルミュージアム」などを、日頃から気にして、見てみてください。

# ５ ジュニア議員の感想

## ～ジュニア議会を終えて～

**１. 議会の仕組みについて、理解は深まりましたか。**

- 議長がしっかり仕切っていて身が引き締まるような思いでした。
- 議会の仕組みについて理解を深めることができました。
- 議長席の前で議案を言うところに驚きました。
- 本物の議会は、３日間もかけて行っていることに驚きました。
- 機会があったら議場の傍聴者席で本物を見たいと思いました。
- 議会は、熊谷への理解を深める貴重な場ということが分かりました。
- 真面目なイメージが強かったので、時々笑いもあり、少し緊張がほぐれました。
- 今回の議会よりも、より内容の濃いものを年４回も行っているのはすごいと思いました。
- １人１人がお互いの意見を尊重し吸収することで、自分だけでは気付くことのできなかった様々な「熊谷市」を知ることができました。

**２. 質問に対する答弁で印象に残っている部分はありますか。**

- どんな質問にも市長さん方が真剣に答えてくださったのが印象に残っています。
- 熊谷は昭和からラグビーの町ということに驚きました。
- 弱っているソメイヨシノを植え替えたり、たびたび点検しているおかげで、こんなに熊谷桜堤はきれいなのだと思いました。
- 一番身近に感じている魚であるムサシトミヨのことで、疑問が解決できたのとともに、今後も自分たちで守っていくことが大切であると分かりました。
- 籠原駅前の開発は、ラグビーワールドカップに向け始発駅にふさわしい駅になるように進めていることが分かりました。
- 熊谷市は暑い街なので、快適に過ごせるよう工夫しているのは、とても良いと思いました。
- 街灯の９０％以上がＬＥＤに交換されたことが印象に残りました。

・ 周囲に悪影響を与えるナガミヒナゲシは、根から周囲の植物に害となるものを出していることと、自分で処理できることを初めて知りました。
・ ラグビーワールドカップのテロ対策等や、なぜ熊谷がラグビーの街なのかがよく理解できました。
・ 現在、国全体で働き方改革が行われており、熊谷でもホームページから情報を発信するなど、啓発活動が行われていることが分かりました。
・ 宿泊型避難訓練をしていることを初めて知り、自分も日々意識したり、家族と防災について話し合ったりしたいです。
・ 医療費の負担軽減について、子育ての負担軽減になっていると聞き、子どもが多い家庭はより負担が軽減されており、また高校生までの医療費無料化は家計の助けになっていることも知りました。
・ 防災無線は、大人ではなく子どもの放送の方がメリットがたくさんあることを知りました。

**３．ワークショップで、熊谷市への理解は深められましたか。**

・ 今まで知らなかった熊谷の歴史や文化、現在の熊谷の活動など、理解を深めることができました。
・ 熊谷で行われるワールドカップに対する政策・対策が分かっていないところもあったので、そこを深めたいと思いました。
・ 市長が出向いてＰＲしていると聞き、ありがたいと思いました。
・ 今後は更に新しい取り組みや市の目標について知り、貢献していきたいです。
・ 熊谷が好きなので、熊谷愛が深められました。
・ 他の議員さんの質問では、まだ知らなかったことも多く、さらに理解を深めることができました。
・ これからは熊谷市の未来だけではなく、過去に起こった出来事や歴史についても調べ、熊谷市民としての誇りを持てるようにしたいです。
・ 熊谷の良いところや今取り組んでいることを深く学べたので、もし今後機会があれば、より暑さ対策について取り組んでいきたいです。
・ 熊谷は自然が豊かで、その保護活動が積極的に行われていることが印象に残りました。

・　ＰＲや呼びかけなどは、インターネットが使われていることが多いので、ホームページを見てみたいと思いました。
・　熊谷には、自分が知っている以上に、たくさんの良いところがあり、それを広めるためにたくさんの人が努力しているのだなと感じられました。
・　市が、バスなどの交通やムサシトミヨの保護活動に力を入れていることや、国でも問題になっている少子高齢化問題へも取り組んでいると知りました。
・　意見を出し合い、発表し合うことで、熊谷市が様々な分野から私たち市民を支えていることに気づくことができました。

**４．夢・未来熊谷ジュニア議会を体験して感じたことを教えてください。**

・　事前に他校の人たちとのワークショップがあったので、緊張せず臨むことができました。
・　このような機会を頂かなければ、聞けないことが多くあったので、とても勉強になりました。
・　夢・未来とあるように夢を叶えるために頑張りたいと思います。
・　１回の議会を行う上で、準備や計画のために多くの時間がかかることが分かりました。
・　議員の方は、体力的にも精神的にも疲れるのではないかと感じたので、選挙権を得た際には、きちんと職務を果たしてくれる議員の方に投票したいです。
・　他校生徒の質問を聞いて、意見に共感したり、新たな視点を発見することができました。
・　ジュニア議員との交流を深め、自然に話し合える関係を作りたかったです。
・　他校生徒との貴重な出会いなので、もう少し仲良くなりたかったです。
・　参加したことで、熊谷の見方が変わり、更なる魅力をたくさん発見して、いつかは市に貢献できるような活動ができれば良いと思います。
・　１人１人が全く別の観点から熊谷市を見つめることで、様々な疑問や意見が出され、とても興味深いと思いました。
・　準備ができていて、とてもスムーズに進んだのではないかと思います。
・　説明が丁寧だったため、素早く、そして深く理解することができました。

# 第12回夢・未来熊谷ジュニア議会　座席表

| 広報広聴課長 | 広報広聴課 |
|---|---|

議会事務局

| | | | |
|---|---|---|---|
| 産業振興部長 | 環境部長 | 福祉部長 | 危機管理監 |
| 市民部長 | 総務部長 | 総合政策部長 | 市長公室長 |
| | 副市長 | 市長 | |

| | | |
|---|---|---|
| | 議長 | 議会事務局長 |

演壇

| | | | |
|---|---|---|---|
| 議会事務局副局長 | 選挙管理委員会事務局長 | 監査委員事務局長 | 農業委員会事務局長 |
| 消防長 | 水道部長 | 契約室長 | 会計管理者 |
| 教育長 | 教育次長 | 都市整備部長 | 建設部長 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 16 あさみ ふうか 浅見 楓香（吉岡中） | 15 ふかわ りく 府川 里玖（吉岡中） | 6 しんどう ふうか 新藤 楓香（大原中） | 5 あきば こうた 秋庭 宏多（大原中） |
| 20 ときた しおり 時田 栞（三尻中） | 19 たかはし まさふみ 高橋 優文（三尻中） | 18 みかみ きほ 三上 喜帆（別府中） | 17 はまかわ ひでき 濱川 秀紀（別府中） |
| 32 おおつ みつき 大津 美月（江南中） | 31 かなむろ ひろき 金室 洋紀（江南中） | 30 やまぐち さわ 山口 紗和（妻沼西中） | 29 ほりこし えいと 堀越 叡人（妻沼西中） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | |
| 8 ただ ひな 多田 陽菜（熊谷東中） | 7 もり はじめ 森 基（熊谷東中） | 14 はるやま きょうか 春山 京花（中条中） | 13 なかじま こうせい 中島 康成（中条中） |
| 28 なかはら あやか 中原 彩花（妻沼東中） | 27 うえすぎ しゅんすけ 上杉 俊介（妻沼東中） | 26 つぼい さき 坪井 咲稀（大里中） | 25 とがの しょうた 門叶 翔汰（大里中） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4 すずき あみ 鈴木 彩心（富士見中） | 3 かねこ いぶき 金子 依蕗（富士見中） | 2 はなおか こはる 花岡 瑚流（荒川中） | 1 まつもと きょうたろう 松本 京太郎（荒川中） |
| 12 あきやま さくらこ 秋山 桜子（大麻生中） | 11 おの よしき 小野 芳樹（大麻生中） | 10 うえむら りな 植村 里菜（玉井中） | 9 こくぶん ひろき 國分 裕希（玉井中） |
| 24 あらい はな 新井 花菜（大幡中） | 23 あきにわ けんすけ 秋庭 健佑（大幡中） | 22 おだしま りん 小田嶋 凛（奈良中） | 21 ふじの あやと 藤野 綺人（奈良中） |

| ミキサー室 | 傍聴席 |
|---|---|

# 7　参考資料（答弁のための出席者）

| | |
|---|---|
| 市長 | 富岡　清 |
| 副市長 | 嶋野　正史 |
| 市長公室長 | 戸森　重雄 |
| 危機管理監 | 松岡　八起 |
| 総合政策部長 | 長谷川　泉 |
| 総務部長 | 清水　敏文 |
| 市民部長 | 山﨑　昌司 |
| 福祉部長 | 野中　詔子 |
| 環境部長 | 中島　慎介 |
| 産業振興部長 | 持田　浩一 |
| 都市整備部長 | 前田　昌利 |
| 建設部長 | 澤田　英夫 |
| 消防長 | 宮本　貢朗 |
| 水道部長 | 羽鳥　豊 |
| 契約室長 | 渡辺　祐一 |
| 会計管理者 | 小林　教子 |
| 教育長 | 野原　晃 |
| 教育次長 | 正田　知久 |
| 選挙管理委員会事務局長 | 栗原　隆行 |
| 監査委員事務局長 | 小澤　幸夫 |
| 農業委員会事務局長 | 増田　啓良 |
| | |
| 議会事務局長 | 長島　留美子 |

市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第 12 回　夢･未来熊谷ジュニア議会　会議録

発行　熊谷市総合政策部広報広聴課

〒360-8601　熊谷市宮町 2-47-1

℡：048-524-1111(代表)